

04



01\_ ハチやチョウ、テントウムシなどたくさんの虫も訪れるのとクリシマの花。  
 02\_ 芦田さん宅（中斉）のとクリシマ。後ろに見える車庫はレールで移動し、大切なクリシマを保護する。  
 03\_ 柳田小学校の校庭にもたくさんのとクリシマが植えられている。  
 04\_ 県指定天然記念物に指定されている、酒井さん宅の「五十里のとクリシマ」は紫色のクリシマとしては県内最大を誇る。

# 深紅の天花

のとクリシマ

能登町の花「のとクリシマツツジ」は、能登半島の花にも指定され、4月下旬から5月中旬まで能登半島全体を深紅に染め上げます。奥能登4市町では昨年からはオープンガーデンも実施され、見どころとなったゴールデンウィークにはたくさんの観光客が、ガイドマップを手にのとクリシマ巡りをしていました。

01  
05

県指定無形民俗文化財「小木のとも旗祭り」は、5月2、3日に行われました。大漁・安全を願う5つの文字が描かれた高さ約20尺のとも旗9本が、小木港内をゆっくりと周回。3日午後には神輿を乗せた御座船に9本のとも旗が繋がれました。スルメイカの水揚げ日本海側最大を誇る小木港。6月上旬には小木スルメイカ船団が出港していきます。

# 群青の祭典

とも旗祭り



05\_ 御座船と9本のとも旗は、小木港内でパレードをしたあと、沖に出て神事を行い海の神様に向かって大漁・安全を祈願する。  
 06\_ 宝くじ助成をうけて修繕された御船神社の神輿。「ヨーサ、ヨーサ」のかけ声で荒々しく練り歩く。  
 07\_ 昨年に引き続き曳船は、小木港のシンボルである中型イカ釣り船（第68日章丸）が務めた。  
 08\_ 家族連れや観光客などでにぎわう小木港。初めて見ると巨大なとも旗の迫力に圧倒される。

